

うえはら まさひろ

上原 正弘

尚美音楽短期大学 第3期
音楽学科・器楽II専攻(ホルン)



略歴・プロフィール

沖縄県那覇市出身。1985年尚美音楽短期大学卒業。ホルンを南浩之氏に師事。1985年20歳で（公財）仙台フィルハーモニー管弦楽団に入団し1997年までホルン奏者を務め沖縄に帰る。1997年～2002年東京ユニバーサルフィルハーモニー管弦楽団首席ホルン奏者を務める。2000年琉球交響楽団設立に携わり2006年までホルン奏者兼運営委員を務める。2009年琉球フィルハーモニー管弦楽団を設立し2012年に法人化(名称を一般社団法人 琉球フィルハーモニックに変更)。

2000年度第35回沖縄タイムス芸術選賞「奨励賞」受賞。

これまでに演奏活動の傍ら、琉球大学教育学部、沖縄県立芸術大学音楽学部等の非常勤講師や、コンサートの企画・運営、2005年から2019年までエフエム那覇 音楽番組「琉球フィルスタイル」のパーソナリティーを務めるなど多岐にわたる活動を行う。

現在、一般社団法人 琉球フィルハーモニック代表理事、琉球フィルハーモニックオーケストラ代表、那覇ジュニアオーケストラ・ジュニアジャズオーケストラおきなわの各団長を務める。

沖縄県文化芸術振興審議会委員、那覇市文化行政審議会副会長、那覇市協働大使、仙台フィルハーモニー管弦楽団 団友。

現在の仕事について

現在はホルン奏者としての活動を制限し、代表理事を務めている一般社団法人 琉球フィルハーモニックの運営に取り組んでいます。

この法人は「音楽と共にまちと響きあう」を理念に、プロ演奏家の活動の場として「琉球フィルハーモニックオーケストラ」「琉球フィルハーモニックジャズプレイヤーズ」の活動や、子どもたちの育成の場として「那覇ジュニアオーケストラ」、音楽による子どもの居場所づくりとして「ジュニアジャズオーケストラおきなわ」の活動。さらに2019年4月から福祉部門を新設し、音楽療法に特化した、全国でも数の少ない個別療育支援のための「児童デイセンターこどもの城ミュー」（児童発達支援・放課後等デイサービス）の開所など、音楽がどのように社会を豊かにするかを追究しています。

尚美学園で学んで良かった事

素晴らしい先生方から音楽の基礎や奏法等を学べたことも良かったのですが、価値観の違う全国各地から集った仲間と出会い、様々な活動や助け合いながら過ごした尚美での日々は今でも掛け替えのない宝物となっています。

卒業から40年近く経ちますが、その思い出は褪せることなく、今でも連絡を取り合っている仲間も多くいます。

在校生・尚美を目指す高校生へのメッセージ

私はオーケストラの経験がないまま、卒業して間もなく仙台フィルに入団したため、最初はとても苦労しましたが、多くの方に出会い支えられてオーケストラで学ばせていただきました。

沖縄に帰ってからも多くの方に出会い支えられてこれまで演奏活動を行ってきました。

人それぞれに様々な生き方や目標があると思いますが、人との縁を大切に歩いていくと、どうやら間違いないようです。